

## 「近隣の自然の変化に目を向ける No.12

野生ラン(蘭)を探し求めて Wild orchids」

2020年6月3日

6月に入った。暦では春から夏に移り変わり、梅雨入りが近いようだ。しかし、今年はコロナ禍で季節感が薄れているのではないかと。しかし、周囲の花々を見てみると、季節の変化は明らかだ。ホタルブクロはその典型。ゲンジボタルが光を放って飛び交うのは入梅の頃からで、昔は子どもが捕まえたホタルを筒形の花の中に入れてほのかに光るのを楽しんだと言う。

でも、今年はホタル狩に行けるだろうか？先日そんな会話をした。可能性は、自粛／自由半々か？

今回は、春先から探し求めた野生ランとの出会いについて記す。シュンラン（春蘭）、金蘭、銀蘭は例年よりも見事な花を付けていた。心躍る再会であった。紫蘭は、ランには珍しく園芸種として長い間たくさんの花を見ることが出来る。一方、白紫蘭とはなかなか出会う機会に恵まれなかった。エビネランは、かつては本橋野草苑で多様な花を見せていただいたが、今年は芦花公園の一角で見た3種だけであった。そのエビネの側に君子蘭が華やかに咲いていたが、実はラン科ではなくヒガンバナ科。ランになりたい思いが募り、ラン宮殿の君子と呼ばれるほどの美と鮮やかな色の花を付けるまでに出世した、という物語があるとかないとか・・・ランらんラン、と想像が膨らむのもランの魅力と言えるかも知れない。

以上、今春のランとの私的出会いという視点で8種のランを紹介したが、過去に出会った野生ランについて付記する。世界中には多くの熱烈な蘭愛好家がおられ、毎年大規模な蘭展が開かれている。しかし私は、そこで展示される派手で高貴なランよりもむしろ野生ラン（高山植物や野草）に強く惹かれる。例えば、レブンアツモリ、クマガイソウはその中の別格だが、ネジバナ、マヤラン、サギソウ、ハクサンチドリなど、何度見ても大興奮する。

[http://sengawacx.com/LookNatureN012\\_2020.jpg](http://sengawacx.com/LookNatureN012_2020.jpg)

<http://sengawacx.com/OtherWildOrchids.jpg>

[コロナ情報 : 緊急事態宣言解除後の生活]

参考： 緊急宣言後の生活 062020C.pdf

<http://sengawacx.com/LifeAfterReleaseCOVID19Emergency.pdf>